

情報公開用文書

「当院初のレオカーナ使用において検討した維持透析との併用療法」について

1, 研究（調査）の目的と概略

血液透析と血液吸着の併用療法における施行手技を検討、評価し、患者様に負担が少ない治療方法の追求を目的とします

2, 研究（調査）の方法

血液透析療法と血液吸着療法を併用して施行された患者様に関して、年齢、性別、臨床経過に関する情報を収集します。氏名や住所は収集いたしません。当院で匿名化された後、日本腎不全合併症医学会へ情報提供されます。

3, 研究（調査）の参加施設

徳島県立中央病院

4, 調査期間

調査期間 2024年9月1日から2024年12月31日まで

5, 調査の対象となる患者様

本研究の対象となるのは、上記調査期間の間に、血液透析療法と血液吸着療法を併用して施行された患者様です。

6, この研究への協力は任意です

本研究は、患者様の診療記録から得られた情報のみを使用する「観察研究」と呼ばれるもので、患者様に新たな診療や検査を強いるものではありません。調査結果は、個人が特定できないように匿名化して管理し、個人情報を保護します。データのご使用をお断りになる場合は、直ちに情報の利用を停止いたしますので、ご遠慮なくお申し出ください。何も診療に不利益は生じません。

7, お問い合わせ先

事務局 : 徳島県立中央病院

研究責任者 : 徳島県立中央病院 医療技術局 臨床工学科 武市和真

当院研究責任者 : 徳島県立中央病院 医療技術局次長 河野郁代

TEL : 088-631-7151